

第1章

企業局所管施設の被害状況

第1章 企業局所管施設の被害状況

東日本大震災（平成23年4月7日発生の最大余震を含む）による企業局所管施設における被害額等は、次のとおりであった。

企業局所管施設の被害状況（平成25年3月18日集計）

事業名	件数 (箇所数)	概算被害額(円)			備考 (被災の種類と被災箇所)
		国庫補助額	県負担額	全体額	
大崎広域 水道用水供給事業	95	241,312,122	104,664,861	345,976,983	管路(継手離脱等)22か所 水管橋(支承破損)3か所 空気弁等56か所 施設・設備等14か所
仙南・仙塩広域 水道用水供給事業	55	144,442,200	94,621,182	239,063,382	管路(継手・可撓管離脱等)14か所 空気弁等7か所 施設・設備等34か所
水道用水供給事業計	150	385,754,322	199,286,043	585,040,365	
仙塩 工業用水道事業	92	266,177,965	41,327,134	307,505,099	管路(継手離脱等)8か所 導水路1か所 水管橋(支承破損)3か所 空気弁等74か所 施設・設備等6か所
仙台圏 工業用水道事業	31	9,949,020	6,455,160	16,404,180	管路(継手離脱等)4か所 空気弁等25か所 施設・設備等2か所
仙台北部 工業用水道事業	10	10,097,850	9,287,967	19,385,817	管路(継手離脱等)5か所 空気弁等5か所
工業用水道事業計	133	286,224,835	57,070,261	343,295,096	
水道用水・工業用水道計	283	671,979,157	256,356,304	928,335,461	
地域整備事業	3	-	603,690,250	603,690,250	
合計	286	671,979,157	860,046,554	1,532,025,711	

※ 地域整備事業には、株式会社仙台港貿易促進センターの持分に係る被害額が含まれている

第1節 水道用水供給事業

東日本大震災により、大崎広域水道事業では、送水管路を中心に95か所で被害が発生したほか、仙南・仙塩広域水道事業では、同様に55か所で被害が発生した。

被害箇所の半数以上は地震動による管の抜け出しや継手の離脱であった。また、水処理機能の喪失には至らなかったが、浄水施設等に被害が発生した。

なお、3月11日の東北地方太平洋沖地震及び4月7日の最大余震により2度目の被害を受けたが、同一箇所において2度の被害が発生した事例はなかった。



東日本大震災による被災箇所概要図



第2節 工業用水道事業

東日本大震災により、仙塩及び仙台圏工業用水道事業では、空気弁を中心に123か所で被害が発生したほか、仙台北部工業用水道事業では、送水管路を中心に10か所で被害が発生した。

また、被災した施設には、本格的な復旧に相当程度の期間を要するものがあったため、応急対応として別系統からの給水や仮設の配管による送水を行った箇所もあった。

なお、仙台北部工業用水道事業では、4月7日の最大余震による被害はなかった。



空気弁からの漏水

1 仙塩及び仙台圏工業用水道事業

本震により仙塩工業用水道事業では、空気弁被害を中心に92か所で被害が発生したほか、仙台圏工業用水道事業では、同様に31か所で被害が発生した。特に、仙台港に立地している事業所等に用水を供給するための重要施設である仙台港水管橋が、津波による橋台背面の洗掘により左岸側橋台の転倒や橋脚部における可撓管の抜け出し、さらには支承部に破損が生じた。

また、最大余震により、復旧した箇所において再度被災した所があったほか、七北田川第2水管橋が支承部破損、伸縮可撓管の許容量超過や橋桁の橋軸直角方向への移動などにより落橋寸前の状況になった。

なお、仙塩工業用水道事業においては、本格復旧に相当の期間を要する施設があったため、応急対応として仙台圏工業用水道事業からの給水や仮設の配管による配水を行ったものがあつた。

被災状況（施設別・部位別）の一覧

【仙塩工業用水道事業】

施設別	箇所数	割合	部位別	箇所数	割合
貯水施設	－	0.0%	管継手	9	9.8%
取水施設	－	0.0%	可撓管	－	0.0%
導水施設	1	1.1%	空気弁	69	75.0%
浄水施設	5	5.4%	制水弁	5	5.4%
送水施設	86	93.5%	水管橋	3	3.3%
			建築物	2	2.2%
			電気設備	4	4.3%
			その他	－	0.0%
計	92	100.0%	計	92	100.0%

【仙台圏工業用水道事業】

施設別	箇所数	割合	部位別	箇所数	割合
貯水施設	－	0.0%	管継手	4	12.9%
取水施設	1	3.2%	可撓管	－	0.0%
導水施設	－	0.0%	空気弁	25	80.7%
浄水施設	－	0.0%	制水弁	－	0.0%
送水施設	30	96.8%	水管橋	－	0.0%
			建築物	1	3.2%
			電気設備	1	3.2%
			その他	－	0.0%
計	31	100.0%	計	31	100.0%

2 仙台北部工業用水道事業

本震により送水管路を中心に 10 か所で被害が発生した。被災状況は、管の継手部分の抜け出しと破損が5か所、空気弁の破損が5か所であった。

なお、最大余震による被害はなかった。

被災状況（施設別・部位別）の一覧

施設別	箇所数	割合	部位別	箇所数	割合
貯水施設	－	0.0%	管継手	5	50.0%
取水施設	－	0.0%	可撓管	－	0.0%
導水施設	－	0.0%	空気弁	5	50.0%
浄水施設	－	0.0%	制水弁	－	0.0%
送水施設	10	100.0%	水管橋	－	0.0%
			建築物	－	0.0%
			電気設備	－	0.0%
			その他	－	0.0%
計	10	100.0%	計	10	100.0%

第3節 地域整備事業

東日本大震災により、地域整備事業では、仙台港国際ビジネスサポートセンターが大きな被害を受けた。

地震により貸事務室の天井が落下したほか、津波により1階部分が冠水して中央監視装置などが破損してしまい、館内の照明、空調、エレベーター及び消防設備等の制御機能が失われた。

そのため、建築物としての健全性に問題はなかったが、通常の利用ができない状況になった。



1 仙台港国際ビジネスサポートセンター（愛称：アクセル）

本震により発生した大津波は、仙台港国際ビジネスサポートセンターにも押し寄せ、1階部分が浸水するなど甚大な被害が発生した。多くの漂流物（がれき）が館内に流れ込み、ガラスやシャッター等も破損して壊滅的な被害となり、電気・ガス・水道等のライフラインが途絶、1階にあった中央監視室が冠水して機能が麻痺したほか、5階の貸事務室の天井パネルが落下して使用ができない状態となった。

2 仙台港背後地センター地区

センター地区に立地しているアウトレットモールや大型ホームセンターにも津波が押し寄せ、浸水被害などが発生した。また、駐車場等にはガレキが散乱して営業が出来ない状況になった。